

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院腎センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身や家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2017年1月1日 ～ 2019年8月1日の間に、虎の門病院腎センター・リウマチ膠原病科に入院・通院し、骨粗鬆症の治療を受けられた方

【研究課題名】

慢性腎臓病における骨粗鬆症治療の検討

【研究の目的・背景】

目的：慢性腎臓病(CKD)患者さんの骨粗鬆症の臨床経過を調査し、様々な治療法の有効性・安全性を評価することを目的としています。

背景：CKDは骨折の強力なリスク因子であることがわかってきましたが、腎機能障害の点から治療が難しいと考えられてきました。近年優れた薬剤が多く保険認可されてきておりますが、どのような治療法が最も安全で有効であるか、未だ明らかではありません。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2019年10月9日 ～ 2024年3月31日

【虎の門病院及び虎の門病院分院共同研究】

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院腎センター 和田健彦のもと研究終了後5年間保存いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する情報】

検査データ、診療記録、骨密度データ、薬歴

【研究代表者】

虎の門病院腎センター 和田健彦

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院腎センター 和田健彦

【利用する者の範囲】(全列記)

虎の門病院腎センター 和田健彦

虎の門病院分院腎センター 澤直樹

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身や家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

ご自身や家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院腎センター 和田健彦

電話 03-3588-1111(代表)